平成 24 年 2 月 10 日

各　　位

会 社 名　福 山 通 運 株 式 会 社
代 表 者　取締役社長執行役員　小 丸 成 洋
（コード番号　9075　東証・大証第１部）
問合せ先　取締役副社長執行役員　熊 野 弘 幸
（ＴＥＬ．０３－３６４３－０２９２）

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 10 日開催の取締役会において、平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 ヵ年の第 2 次中期経営計画「Challenge，Change　2014」を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以　上

福山通運グループ　第2次中期経営計画

Challenge, Change 2014

（2012.4 ～ 2015.3）

― すべては、安全・安心をお届けするために ―



昭和30年頃

福山通運

本資料に含まれる数値、および将来に関する記載は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報のみに基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因により異なる可能性があります。本資料は記載された目標や予想の達成、将来の業績を保証するものではありません。

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

経営計画の策定にあたって

福山通運グループは、物流というサービスの提供を通じて、その企業価値を高めるだけにとどまらず、社会の持続可能な発展のため、企業市民としての社会的責任を積極的に果たしていくことが使命であると考えています。

東日本大震災により、サプライチェーンの混乱が経済活動に大きな打撃を与えたことで、物流が電気・ガス・水道と同じくライフラインの1つであることを再認識させられ、当社グループは物流を担う企業として、その社会的責任の重さを改めて痛感いたしました。
第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」は、安全・安心なサービスを安定的に、かつ継続してお客様にお届けしていくことを最重要課題ととらえ、「すべては、安全・安心をお届けするために」をコンセプトとしてとりまとめました。

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

第2次中期経営計画の位置づけ

当社グループが創業60周年を機に平成21年度から実施し、平成23年度で終了いたします中期経営計画「Challenge, Change 2011」では、「福山通運は、すべての皆様のご期待にお応えします。」をコンセプトに経営基盤を強化し、企業価値を向上させるための経営3目標を定め、その達成に向けた営業展開を行ってまいりました。流通構造の変化と世界同時不況による景気低迷で国内貨物総輸送量が激減するなどの影響もあり、当初の数値目標は一部未達成とはなりましたが、その間、収支構造の改革に努め持続可能な成長のための利益体質の強化を図ってまいりました。第2次中期経営計画では、創業以来築き上げてきた当社グループの品質力、創造力、現場力、環境力 “4つの力”を結集し、これまでの取り組みを発展的に引き継ぎ、新たな経営目標の達成を目指してまいります。

当社グループは、第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」のもと、創業者精神に立ち返り、当社グループのコーポレートマークであります「昇りゆく太陽」と「永遠に成長を続ける企業の歩む道」をイメージした「ライジングマーク」のごとく、将来に向けて、その成長を安定的な軌道に乗せ永続的に事業活動を行っていくゴーイング・コンサーンであれるよう経営努力を行ってまいりますので、何卒ご支援の程、よろしくお願い申しあげます。



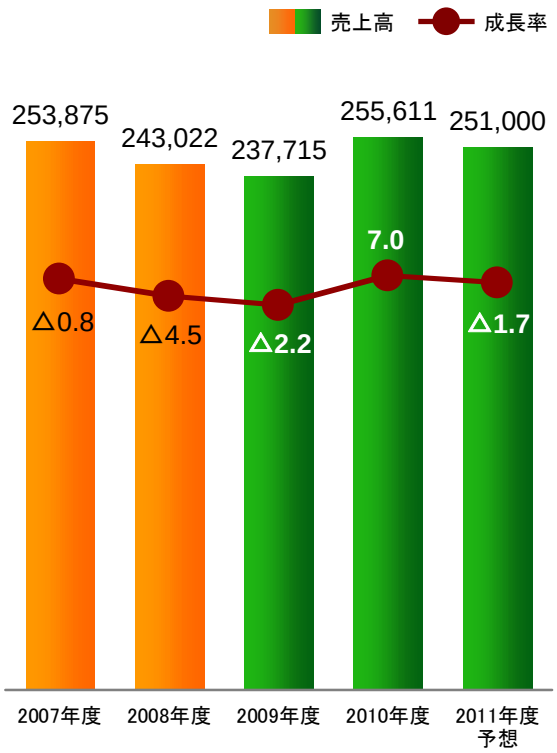
© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

中期経営計画「Challenge, Change 2011」の振り返り

経営目標　売上高は達成できませんでしたが、利益体質を強化しました。

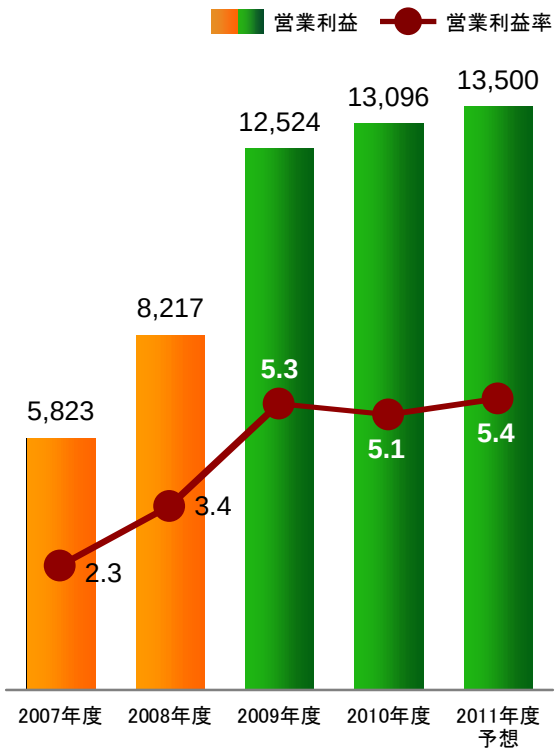
売上高／成長率

（単位：百万円、%）



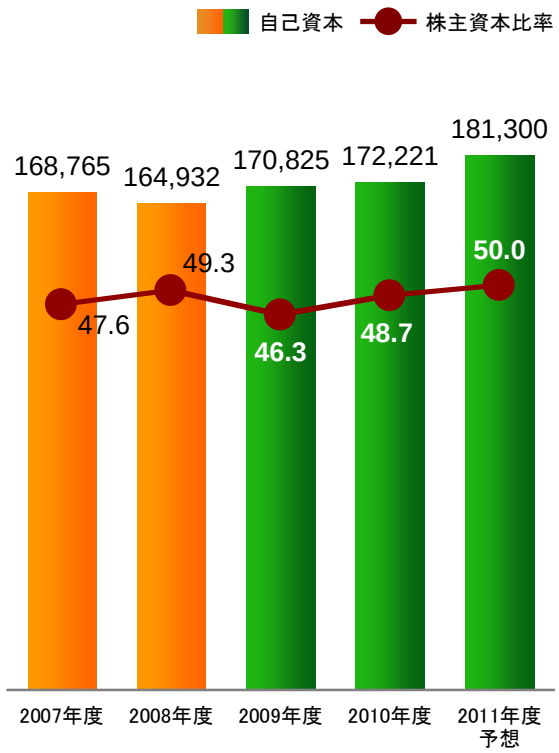
営業利益／営業利益率

（単位：百万円、%）



自己資本／株主資本比率

（単位：百万円、%）



© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

中期経営計画「Challenge, Change 2011」の振り返り

経営方針	実施項目	
社会的責任の遂行	● 執行役員制度の導入	→ コーポレート・ガバナンス体制の強化
	● 東日本大震災における救援物資輸送	→ 被災地の物流網をいち早く復旧させるため、現地に各地から応援者を派遣
	● 道路清掃活動「アメニティクリーン作戦」のエリア拡大	→ 各店で周辺道路の清掃活動を実施
安全・安心なサービスの提供	● 翌日配達エリアの拡充	→ 羽田・福岡および北九州間を就航する航空便「スターフライヤー」の利用拡大
	● 運輸安全マネジメントの積極的な取り組み	→ 車両事故の減少に成果
	● 安全・安心大会の開催	→ 福山通運グループおよび協力会社も参加
営業基盤の強化と新規市場への進出	● 王子運送の子会社化	→ 北関東地区を中心とした営業基盤の強化
	● 適正な重量・容積に基づいた運賃収受	→ 運賃監視委員会の設置
	● 大型流通センターの開設	→ 東京北支店、東京浦安流通センター、藤沢支店、大手量販店物流センター
人事制度の整備	● 社内評価制度の実施	→ 全員参加型評価制度（マナーアップキャンペーン）の導入
環境経営の取り組み	● モーダルシフトの推進	→ 社外研究会でモーダルシフトの検討・実施
	● 低公害車の導入	→ 環境性能に優れた自動車の導入

第2次中期経営計画において発展的に引き継ぎ
新たな経営目標の達成を目指します。

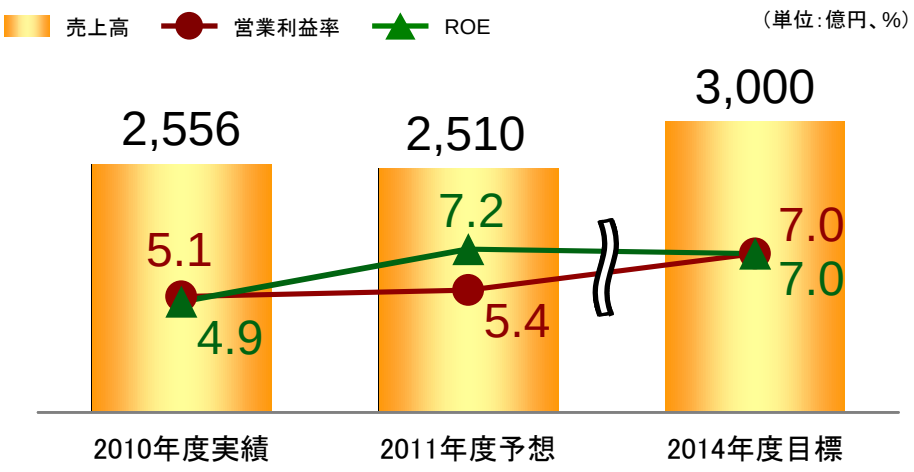
© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

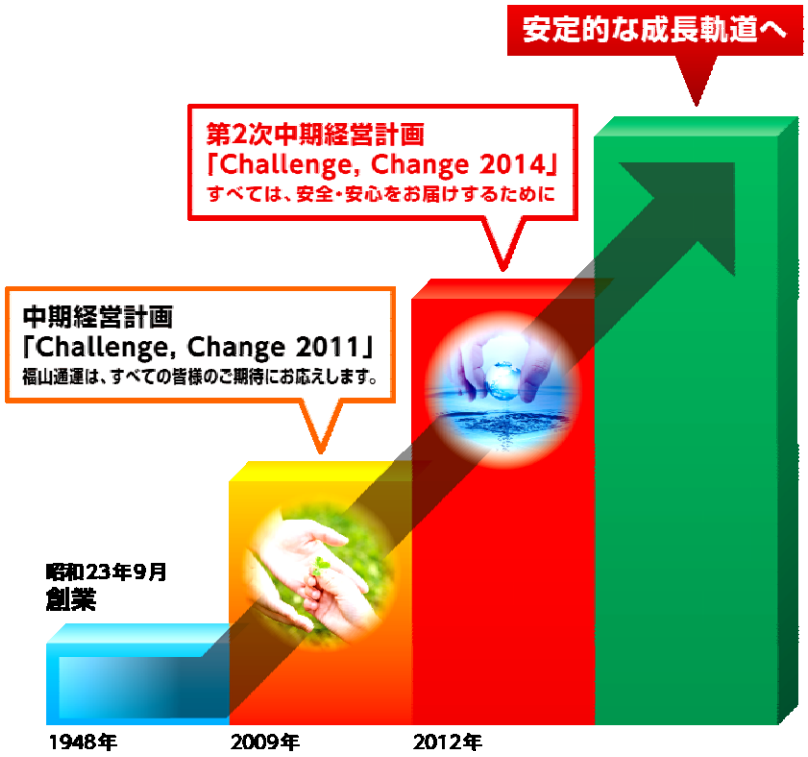
第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

新たな経営目標

経営目標

	2011年度予想	2014年度目標
売上高	2,510億円	3,000億円
営業利益率	5.4%	7.0%
ROE（自己資本利益率）	7.2%	7.0%





© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

事業別セグメントの目標

（単位：億円）

事業セグメント		主な事業内容	売上高		営業利益	
			2011年度予想	2014年度目標	2011年度予想	2014年度目標
運送事業	ネットワーク事業	国内輸送、宅配便、その他貸切	2,244	2,372	123	143
	引越事業	「フクツー引越便」	9	11	1	1
	計		2,253	2,383	124	144
流通加工事業	ロジスティクス事業	倉庫、流通加工	115	165	11	20
国際事業	国際事業	航空・海上貨物輸送（フォワーディング）、通関	25	110	3	14
その他事業	不動産賃貸事業	物流施設	64	68	6	7
	物品販売事業	「味のふる里便」	38	50	7	9
	ストア事業	コンビニエンスストア	10	20	2	4
	その他事業	労働者派遣、ボウリング、損害保険代理、旅行サービス	97	102	21	22
	計		209	240	36	42
新規事業			—	200	—	30
		セグメント間相殺（消去）	△ 92	△ 98	△ 39	△ 40
		合計	2,510	3,000	135	210

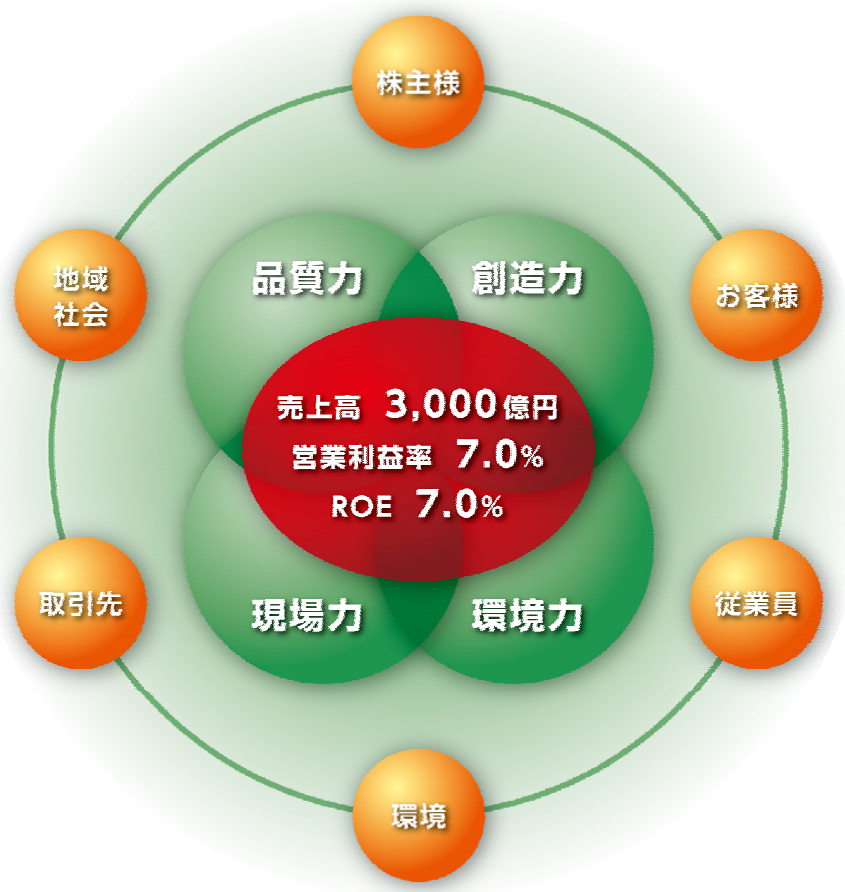
© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

第2次中期経営計画の基本方針

創業以来、当社グループが築き上げてきた“4つの力”を結集することで、すべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えしていくとともに、持続可能な成長を実現し企業価値の更なる向上を目指してまいります。

1. 安全・安心なサービスの“品質力”を向上
2. 営業基盤の強化による新たな価値を生みだす“創造力”の強化
3. 人材育成による“現場力”の強化
4. 地球“環境力”の拡充



© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

基本方針

1. 安全・安心なサービスの“品質力”を向上

①品質管理の徹底

・「安全・安心はわが社の基本である」という理念のもと、魅力的なサービス品質を生みだします。
・一つひとつの荷物を大切にサービス品質の向上に努めます。

②交通事故防止活動を通した安全輸送の確立

・運輸安全マネジメント(注1)を効果的に活用し、交通事故の防止によるサービス品質の向上に努めます。

③翌日午前中配達網の拡充

・お客様満足度を高めるため、輸送距離600km圏内の翌日午前中配達網を整備し、サービス品質の向上に努めます。

④お客様目線に立ったサービスの開発

・日時指定サービスなどの品質の向上に努めるとともに、サービスのラインアップの刷新を図ります。
・ ICT(注2)を最大限に活用した輸送情報の“見える化”を推進し、サービス品質の向上に努めます。

⑤コーポレート・ガバナンスの強化

・当社グループ全体の内部統制の充実を図ります。
・コンプライアンス経営の徹底に努めます。

（注1） 運輸安全マネジメントとは、事業者が構築した安全管理体制を国が評価する制度です。
（注2） ICT（Information and Communication Technology）とは、情報・通信に関連する技術一般の総称です。

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

基本方針

2. 営業基盤の強化による新たな価値を生みだす“創造力”の強化

①グループ経営の再構築

・ネットワーク事業、ロジスティクス事業、国際事業およびその他事業におけるグループの“あるべき姿”を見直し、事業再編を行います。

②ロジスティクス事業、国際事業をネットワーク事業に続く、第2、第3の収益の柱に

・ロジスティクス事業・・・ネットワーク事業との相乗効果を高めるため、物流施設の拡充を図ります。
・国　際　事　業・・・ネットワーク事業との連携を深化させるため、複合一貫輸送体制の強化を図ります。

③M&Aを含む事業拡充による企業価値の向上

・企業価値を高めるために業務提携および資本参加に積極的に取り組みます。

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

基本方針

3. 人材育成による“現場力”の強化

①人事制度改革

・新しい等級制度・評価制度の導入により、従業員のモチベーションを高め組織全体の活力を強化します。
・新しい人事システムを開発します。
・要員管理制度(注1)の導入を検討します。

②人材の確保

・中長期的な視野に立ち、多角的な知識を有する人材を確保します。
・社内教育を充実させ、力量(注2)，経験を高め将来を担う人材を育成します。

（注1） 要員管理制度とは、職務別の必要スキルおよび人員を検討し、当社グループ全体の最適な配置を決定する人的資源管理制度です。
（注2） 力量とは、現場に指示を理解しやすく伝達し、現場の課題に気づき、必要な報告を迅速かつ的確に報告する能力のことです。

福山通運

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

基本方針

4. 地球“環境力”の拡充

①地球温暖化防止

・輸送の効率化に努め、CO_2排出量の削減に努めます。

・省エネ意識を高め、エネルギー使用量の抑制に努めます。

②資源の有効活用

・資材リサイクルを推進します。

・3R活動(注1)でゴミ排出量の削減に努めます。

③環境に配慮した自然にやさしいサービスの提供

・ICTの活用によるペーパーレス化を推進します。

・当社グループ独自の“エコ＆グリーンロジスティクス”(注2)を推進します。

(注1) 3R活動とは、発生抑制(リデュース<Reduce>)、再使用(リユース<Reuse>)、再利用(リサイクル<Recycle>)のことです。
ゴミを減らすには3つのRが大切といわれています。

(注2) エコ＆グリーンロジスティクスとは、当社グループによる輸送を含むロジスティクス全般に関する環境対策、自然保護における取り組みの総称です。

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.

第2次中期経営計画「Challenge, Change 2014」

経営資源の配分方式

（単位：億円）

		投資額（※）
投資計画	事業拠点の増設に係わる投資	150
	業務改善および省力化に係わる投資	60
	安心・安全、環境経営に係わる投資	90
	情報化に係わる投資	80
	新規事業、業容拡大に係わる投資	100
	合計	480

（※）2012年度～2014年度における新規投資分

（単位：人）

		目標
要員計画	正社員	21,000

福山通運

© Copyright FUKUYAMA TRANSPORTING Co.,Ltd. All rights reserved.